



## 第17回展を迎えて

東御市梅野記念絵画館  
館長 佐藤 修

「〇〇コレクション展」と銘打った大コレクターの展覧の例はあっても小コレクターの持つ作品が世に問われたことはない。しかし前回の『私の愛する一点展』が、高額、高名でなくとも、その質の高さとコレクターの熱い思いを綴ったメッセージとがまって、多くの参観者に強い感動を与えたことは事実であった。——友の会の初代会長・中村文俊さんが、「私の愛する一点展」第2回展の開催に寄せての挨拶文です。

私は、初代会長のこの言葉をときどき紐解き、たびごとに思いを新たにします。「一点展」開催の意義がここに的確に語られていると思うからです。今年も「私の愛する一点展」が開催展示されます。お蔭様で17回展を迎えました。ここまで長く続くとは梅野さん自身も予想しなかっただろうと思います。お蔭様で、今年も69点の作品が寄せられました。今回も含めて出品された作品総数は1186点にいたりました。数字を見るとその多さにたじろぎそうです。ともかく、どこにもない展覧会です。「初心忘るべからず」を肝に銘じて、これからも続けてまいります。

## 出品作家

青木鐵夫、青山義雄、秋田義一、芥川紗織、雨田光平、新井狼子、石野容三、岩田道夫、上原正三、梅野 亮、梅野木雨、瑛 九、エルネスト・ローラン、大原瑩子、岡村宇太郎、小倉尚人、織田広喜、小貫政之助、笈本生、北村 脩、楠 瓊洲、久保 守、久米慶子、黒沢良子、近藤克美、近藤光紀、櫻井陽司、佐藤 徹、柴田一昭、島村洋二郎、滝原章助、田島隆夫、田中康夫、棚橋文子、谷澤 鋭、辻村史朗、坪内節太郎、鶴岡政男、伝・宮本武蔵、冬青 小林勇、中野真典、林 重義、林 俊衛、秀島由己男、日向 裕、平澤喜之助、藤川栄子、藤山ハン、二見彰一、堀内康司、牧野虎雄、松下春雄、松田正平、水谷眞一、宮坂房衛、村井正誠、山崎豊三、山内若菜、山村昌明、横井弘三、わたなべゆう、和田義彦